

政策分析シート（平成27年度）

政策名		活気ある地域コミュニティの形成		政策No	10	部名	区民生活部	
						部長名	正木	内線 2500
関連部名		総務企画部、子育て支援部						
行政評価事業体系		分野	V	文化創造都市				
目的		心豊かで活力に満ちた地域社会の形成を図るため、地域の活動拠点の整備を進めるとともに、地域コミュニティによる様々な活動を支援する。						
指標	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文		
			24年度	25年度	26年度			
	①	地域の人との交流の充実度	-	2.71	2.67	お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていると感じますか？		
	②	地域に頼れる人がいる実感度	-	2.66	2.63	お住まいの地域に頼れる人がいると感じますか？		
	③	文化的寛容性	-	2.71	2.57	お住まいの地域に、文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？		
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
	政策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			24年度	25年度	26年度	27年度見込み		
	①	町会加入率(%)	60	60	63	63	64	加入世帯数／区内世帯数
	②	ふれあい館整備率(%)	55	65	65	65	65	整備箇所／数計画数(20館)
	③	青少年育成事業参加者数	55,521	48,206	53,006	53,847	55,000	各地区の青少年育成事業(こどもまつり等)の参加者数
	④							
⑤								
⑥								
⑦								
現状と課題(指標分析)	○人々の交流を活発にし、絆を強化することが心豊かで活力のある地域社会を形成するための重要な条件であり、その中核を担うのが町会であるため、町会の活性化が課題である。 ○未整備ふれあい館整備に必要な用地(1,000㎡程度)の取得に向け、情報収集等を実施している。 ○ふれあい館数の増加により指定管理者の事業者数も増えるため、各館のサービス内容の維持向上や適切な事業運営を行っていく必要がある。 ○社会を明るくする運動推進委員会、「あらかわの心」推進運動区民委員会、青少年育成地区委員会等の団体が、町会、学校、警察などの団体と連携を図りながら地域に根付いた活動を行っており、青少年健全育成活動の枠を超えて、地域見守り活動等の多面的な展開をみせている。 ○運動を担ってる方々が、全体的に固定化しているなどの課題もあり、より円滑な事業執行を図るための組織の再編も検討する必要がある。							
今後の方向性	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 ○町会・自治会事業への積極的な支援を行い、町会・自治会の活動力を高めることにより、地域力の向上を図り、町会加入率の向上をめざす。 ○各施設の利用状況に応じた「ふれあい館整備ニュープラン」の見直しも視野に入れ、区民ニーズに合った特色あるふれあい館づくりを推進するとともに、指定管理者への的確な指導・監督、地域や関係各課との連携強化により、ふれあい館事業の更なるレベルアップを図る。 ○地域の方々が主体となって展開している活動は、地域コミュニティを活性化する上で大変重要であり、今後も活動が発展していくよう効果的に支援を行う。 ○平成26年3月に策定した「平成26年度・27年度荒川区青少年健全育成基本方針」に基づき、各青少年育成地区員会、町会、関係機関等と連携をとり、荒川区の特色を活かした青少年健全育成活動を実施していく。							

政策を構成する施策の分類			
施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	27年度 設 定	28年度 設 定	
コミュニティ活性化の推進	重点的に推進	重点的に推進	地域コミュニティの活性化のため、ひろば館に代わり活動の拠点となるふれあい館の早期の整備が求められている。また、区政のさらなる推進のためにも、町会組織の充実が必要不可欠である。
青少年健全育成運動への支援	推進	推進	青少年育成運動は、地域に定着し、活気ある地域コミュニティを形成するうえで必要不可欠な施策となっている。防災、防犯、環境美化等の面からも大きな役割を果たしており、区として積極的に推進していく必要がある。
人権・平和の普及啓発	推進	推進	人権・平和・男女共同参画について、広く区民に普及・啓発していく。